

千枚田だより

第20号

素晴らしい「景観」と

「歴史」と「人」

田中卓二（むらおこし）

シンガー（国土交通省）

愛・地球博がはじまりま

したね。ずいぶんな盛況の

ようで、9月に開催される

鳳来町のサミットも、地球

博との連携で一層の弾みが

つくのではないでしょう。

先日、四谷の千枚田を訪

れた際には、高橋保存会長、

小山さんはじめお助け隊の

皆様、鳳来町役場の皆様に

は大変お世話になりました。

紙面を借りて、お礼を申し

上げます。昨年の相知町の

サミットで、鳳来町の皆さん

とバスをご一緒させて頂

いて以来、四谷の千枚田を

訪れる日をずっと心待ちに

していました。ですから、



2005.3

皆さんとお会いし、千枚田を一緒に歩けたこと、美味しい五平餅を頂きながらお話をできること、本当に嬉しかったです。

四谷の千枚田の第一印象は、鞍掛山と一体化した石垣の棚田の美しい景観です。今までのサミット開催地もほとんどが山の中だったのですが、鞍掛山という一つ

の山と一緒に化した景観としては、四谷の千枚田は卓越したものがあると思います。また、その歴史の深さも素晴らしいものがあります。

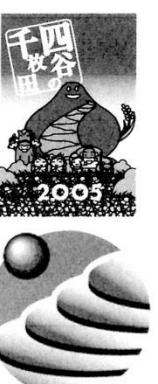
実は、棚田百選地の中にも戦後開墾された所が随所に

あり、それはそれで趣はあるのですが、海源庵が造られた1300年代から千枚田が確実に存在していると

いう歴史の意味は大きいと思います。日本の史書で「棚田」という言葉が最初に用いられたのが、1400年代の高野山文書といわれていますから、それよりも年代をさかのぼることができ

るということです。そして、特筆すべきは、「人」。高橋会長、小山さんをはじめ棚田保全の取組を強力に、か

上の田の
残りの苗を下に投げ
夜なべに作りしお萩の小屋
四谷 小山志ず子



全国棚田千枚田連絡協議会



キーラ

妻中一

つ元気に支えている方がおられることは、四谷の千枚田にとって、何よりも貴重な財産ではないでしょうか。

昨年までの10回のサミ

ットを踏まえて、鳳来町で

新たな棚田サミットの10

年が始まります。「景観」、

「歴史」、「人」といった素

晴らしい財産を持つて

いる四谷の千枚田ですから、必

ずや大成功をおさめること

と確信しています。私も、

微力ながら、先日出演した

F Mうらやすで鳳来町の棚

田サミットを紹介させて頂

きました。司会の方に「棚

田卓二さん」とからかわれ

てしましましたが…

今回のサミットによって、

見を行ないました。

もちろん、作業後は「ふ

れあい広場」でしつかり花

見を行ないました。



が、国内のみならず世界に発信されることを祈念しています。9月のサミットで、再び皆さんとお会い出来ることがあります。

お助け隊の活動

四月十日、お助け隊によ

り千枚田の景観道や沢のゴ

ミ拾いなどを行いました。

いられたのが、1400年

代の高野山文書といわれて

いますから、それよりも年

代をさかのぼることができ

るということです。そして、

特筆すべきは、「人」。高橋

会長、小山さんをはじめ棚

田保全の取組を強力に、か

東京の美女二人

千枚田を訪れる

長さやかさん（元農林水産省農村振興局中山間整備係長現在産休中）は、全国の棚田の保全、振興なくてはならないお人でサミット開催地の事前把握を、また、石井里津子さんは全国棚田連絡協議会発行の「ライステラス」の編集長で、サミットが開催される四谷の千枚田の取材を目的に四月十五・十六日に訪れました。



千枚田の正面入り口から見える「あづまや」に投句箱を設けました。皆さんのがんばりの千枚田への想いなどを詠んだ俳句や短歌をどしどし投句してください。

千枚田を訪れた長さやかさん（元農林水産省農村振興局中山間整備係長現在産休中）は、全国の棚田の保全、振興なくてはならないお人でサミット開催地の事前把握を、また、石井里津子さんは全国棚田連絡協議会発行の「ライステラス」の編集長で、サミットが開催される四谷の千枚田の取材を目的に四月十五・十六日に訪れました。

千枚田を訪れた長さやかさん（元農林水産省農村振興局中山間整備係長現在産休中）は、全国の棚田の保全、振興なくてはならないお人でサミット開催地の事前把握を、また、石井里津子さんは全国棚田連絡協議会発行の「ライステラス」の編集長で、サミットが開催される四谷の千枚田の取材を目的に四月十五・

桜満開の春の日和を和やかな雰囲気で過ごしました。

投句箱

千枚田の正面入り口から見える「あづまや」に投句箱を設けました。皆さんのがんばりの千枚田への想いなどを詠んだ俳句や短歌をどしどし投句してください。

宿泊体験学習

昨年に続き、今年も五月十一日に静岡県三ヶ日中学2年生による宿泊体験学習が県民の森を拠点に町内各所で開かれます。

大代の千枚田直売所横にまかつ建築と小山保存会副会長の協力で作製されたものです。



投合、千枚田を介して再開を誓い合った仲間です。お二人が訪れるという事がいつのまにか（風のたより？）

伝わり、お助け隊の若い衆も駆けつけ、お二人に同行した村上さん、東京大学の加藤さんと一緒に千枚田を散策、懇親会を催すなど、

千枚田を訪れた長さやかさん（元農林水産省農村振興局中山間整備係長現在産休中）は、全国の棚田の保全、振興なくてはならないお人でサミット開催地の事前把握を、また、石井里津子さんは全国棚田連絡協議会発行の「ライステラス」の編集長で、サミットが開催される四谷の千枚田の取材を目的に四月十五・

桜満開の春の日和を和やかな雰囲気で過ごしました。

投句箱

千枚田の正面入り口から見える「あづまや」に投句箱を設けました。皆さんのがんばりの千枚田への想いなどを詠んだ俳句や短歌をどしどし投句してください。

宿泊体験学習

昨年に続き、今年も五月十一日に静岡県三ヶ日中学2年生による宿泊体験学習が県民の森を拠点に町内各所で開かれます。

大代の千枚田直売所横にまかつ建築と小山保存会副会長の協力で作製されたものです。



と「五穀豊穣」を祈願（願主

鞍掛山麓千枚田保存会）して豊橋市の伊賀忠夫様が寄進し

て下さいました。

千枚田にも忙しい田んぼの季節がやつて来ました。

みどりみどり



野山に新芽が吹きだし、季節がやつて来ました。

千枚田守る野仏新地蔵」と新しい地蔵様に託す願いを込めて一句詠みました。

千枚田守る野仏新地蔵」と新しい地蔵様に託す願いを込めて一句詠みました。

千枚田守る野仏新地蔵」と新しい地蔵様に託す願いを込めて一句詠みました。

など、上から見下ろすと「千枚の水鏡」に値するすばらしい眺めです。

この眺望に、訪れた方たちはきっと、潤い、癒され、満たされ、満足した顔になつてお帰りいただけるものと思います。

ルートはカーナビに「鳳来町四谷231」とセットすれば千枚田入り口まで連れて来てもらえます。

みどり 水の張られた春の千枚田はふれあい広場

発行 平成十七年四月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
文責 小山舜二